

## 事例7 製作で習得した知識及び技能を整理・分類し、実践につなげていく事例

○学年 第2学年

○主な内容 内容「B衣食住の生活」(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」ア イ

○事例のポイント

- ①思考ツール（座標軸：身に付いたことを整理・分類する／マンダラチャート：マス目の中にアイデアを出していく）を用いて製作の振り返りを行うことで、自分の技能の習得状況を考えさせる。
- ②十分に基礎の練習を行ってから、小物の製作に取り組み、生活に必要な物の製作計画で技能を活用する場面を考えさせ、実践につなげる意欲を高める。
- ③資源や環境に配慮した視点で衣服の再生利用を考えさせ、持続可能な衣生活への関心を一層高める。

1 題材名 「布を使って、生活を豊かにしよう」 内容B(5) ア イ 第2学年

### 2 題材について

(1) 生徒について（略）

(2) 題材について

本題材は「B衣食住の生活」(5)の「生活を豊かにするための布を用いた製作」ア及びイについて、製作のまとめとして設定している。生活を豊かにするための布を用いた製作について課題をもち、それらに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して課題を解決する力や、健康・快適で持続可能な衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。近年、ファストファッションブランドの出現により、衣類は今まで以上に手の届きやすい価格となった。その後、生産現場の環境への深刻な影響や生産者の人権問題、大量廃棄等、看過できない問題も多く出現している。基礎的・基本的な技能を身に付けていくだけでなく、題材を通じて自分の衣類を大切に扱い、様々な生活場面の中で長く活用する実践につなげたい。

編P125 指導計画  
作成の留意事項(2)

(3) 指導について

前題材においても、資源や環境への配慮の視点から廃棄までを見通した、衣服の購入や長持ちさせるための手入れの大切さについて学習している。それらの視点にたびたび立ち返り、ただ知識及び技能が身に付けばよいというのではなく、身に付ける意義として、それらを活用して、可能な限り資源や環境を大切にすることにつなげていくことをねらいとしている。実際に製作を行う前や、製作後の振り返りの学習の場面で、それまでに身に付けた知識及び技能を実生活のどの場面で生かし、どれだけ活用していけるか考えさせ、さらに振り返るといふサイクルを繰り返すことにより定着を図っていく。

製作に用いるまつり縫い等の手縫いの動作などの活用したい技能や製作の進度は個々に異なるため、タブレット端末の動画再生機能やカメラ機能を使って確認する。こうすることによって、発展的な課題に取り組むことができ、効率的に製作を進められるようにする。

編P125 指導計画  
作成の留意事項(1)

### 3 題材の目標

- (1) 製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。〈知識及び技能〉
- (2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) よりよい生活の実現に向けて、生活をより豊かにするための布を用いた製作について、課

題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

#### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製作する物に適した材料や縫い方について、理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。

#### 5 題材の指導と評価の計画（8時間扱い）

小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補修の基礎をマスターしよう	1	○自分や家族の衣生活や布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定することができる。		①自分や家族の衣服等の再利用について問題を見いだして課題を設定している。 ・ワークシート ・振り返り	
	2	○衣服の手入れや再利用につながる、適した縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。 ・小学校で学んだ縫い方を振り返る。 ・まつり縫いの特徴についてまとめる。 ・まつり縫いの実践、スナップ、ボタン付けの実習をする。	①製作するものに適した縫い方について、理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・練習布 ・確認テスト		①よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ワークシート
布を用いた	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	○まつり縫い、スナップ、ボタン、ファスナー付け等を活用し、ペンケースを製作する。 ・自分の好みのデザインや構造に合わせて適した方法を選択する。	①製作するものに適した縫い方について、理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 ・製作計画 ・製作記録表	②生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動

編P125 指導計画  
作成の留意事項(2)

小物を製作しよう			<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作した作品</li> </ul>	<p>③資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート (ICT端末)</li> </ul>	<p>を振り返って改善したり工夫したりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
布を使って生活を豊かにするものを作ろう	8 本時	○製作物の自己評価と照らし合わせ、実際の生活場面を豊かにする布製品の製作計画を立てる。		<p>④資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート (ICT端末)</li> <li>・学習カード</li> </ul>	<p>③よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作計画</li> <li>・学習カード</li> </ul>

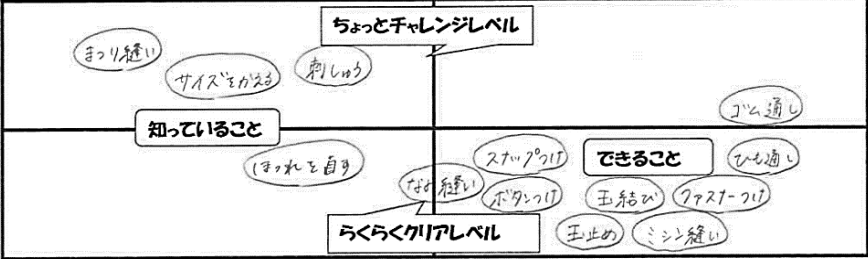
※この後家庭で製作を実践し、作品を評価する。

## 6 本時の学習指導（本時 8 / 8）

### (1) 目標

- ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。〈思考、判断、表現等〉
- ・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点（・）評価規準（◇） 【評価の観点】（評価方法） 手立て（→）
3	1 ペンケースの製作を振り返る。 ・学習課題の把握	・小学校家庭科で学習した内容も同時に思い出させたり、製作で実践した技能について、達成度を振り返らせたりする。 ・布の製造場面を思い出し、限られた資源であることも想起させる。
学習課題 大切な布を使って、生活をもっと豊かにするにはどうしたらよいだろうか		
7	2 製作過程を自己評価する。	・思考ツール（座標軸）を活用する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         キーワード（例）                          なみ縫い まつり縫い 玉止め 玉結び ミシン縫い ファスナーつけ ボタンつけ                          ひも通し スナップつけ ゴム通し サイズをかえる ほつれを直す 刺しゅう                     </div> ・ワークシートに整理・分類する。 横軸：『知っていること』（知識）、『できること』（技能） 縦軸：『ちょっとチャレンジレベル』（習得していない）、『らくらくクリアレベル』（習得している）
20	3 生活に必要で、豊かになる布製品の製作を考える。 ・具体的な製作計画を立てる。	・思考ツール（マンダラチャート）を活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         事例のポイント①                          思考ツール（マンダラチャート）の活用：マス目の中にアイデアを出していく自分が思いつくところから書いていく。                     </div> ・様々な生活場面の中から、必要で豊かになる布製品について考え、製作計画を立てる。 ・不要になって処分しようとしている物を有効活用する、傷んでいる物を補修する等いろいろな視点で考えさせる。 ・整理・分類した知識及び技能を有効に活用できるようにする。

17	4 グループで発表し合い、それぞれの課題について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作計画をグループで発表し合う。</li> <li>・ICT端末の中の付箋機能等を代替的に活用し、共有しやすくする。</li> <li>・生徒のプライバシーに配慮して話し合いを進める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>◇資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> (ワークシート・学習カード)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも資源を大切に使うために、不要になった衣服を長持ちさせたり、自分の生活を豊かにするためのこれまでの学習を生かそうとしたりしている。</li> <li>→自分の生活場面の中で、布製品を無駄にしないためにできることを考えさせる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも資源を大切に使うために、不要になった衣服を長持ちさせたり、自分の生活を豊かにするためのこれまでの学習を生かそうとしたりしている。</li> <li>→自分の生活場面の中で、布製品を無駄にしないためにできることを考えさせる。</li> </ul>
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも資源を大切に使うために、不要になった衣服を長持ちさせたり、自分の生活を豊かにするためのこれまでの学習を生かそうとしたりしている。</li> <li>→自分の生活場面の中で、布製品を無駄にしないためにできることを考えさせる。</li> </ul>			
3	5 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の自分の生活に生かせることを記入し、発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>◇よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> (製作計画・学習カード)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識及び技能を活用して、不要になった布を用いて実践可能な製作計画を立てることができる。</li> <li>→自分の生活場面が豊かになる布製品や、不要になった布の今後の活用方法を考えるよう助言する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識及び技能を活用して、不要になった布を用いて実践可能な製作計画を立てることができる。</li> <li>→自分の生活場面が豊かになる布製品や、不要になった布の今後の活用方法を考えるよう助言する。</li> </ul>
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識及び技能を活用して、不要になった布を用いて実践可能な製作計画を立てることができる。</li> <li>→自分の生活場面が豊かになる布製品や、不要になった布の今後の活用方法を考えるよう助言する。</li> </ul>			

## 7 学習評価の具体例

<ワークシート記入の例>

大切な布を使って、生活をもっと豊かにするにはどうしたらよいだろうか

2年 組 番

○ペンケース製作の学習等を振り返って、今、できていることを整理・分類しよう。

ちよっとチャレンジレベル

知っていること

できること

らくらくクリアレベル

【キーワード】(例) なみ縫い まつり縫い 玉止め 玉結び ミシン縫い ファスナーつけ ボタンつけ ひも通し スナップつけ ゴム通し サイズをかえる ほつれを直す 刺しゅう

○自分の生活をちょっとよくする布製品を考えてみよう。

使える縫い方	どんな場面で使うか	再利用、再生利用する物
縫い方以外使えるスキル	欲しい布製品	なぜそれを活用するのか
布以外に用意するもの	誰が使うか	工夫する点

○欲しい布製品の製作図を書いてみよう。

デザイン(図) 製作計画を立てよう。 みんなからアドバイス

☆製作計画を通して、考えたこと、感じたこと

授業を通して今後の生活に生かせること

### 【思考・判断・表現】④

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した生徒

《製作計画を立てよう》

- ① 色は気に入っているがサイズが合わなくなった、なかなか捨てられないシャツを使う。
- ① シャツの半分を切る(片方は縫ってあるところを使う)
- ② 反対側を中表にしてミシンかまつり縫いで縫う。
- ③ フラップにボタン、ひも(買うまたは作る)をつけて完成。

再生することなど、具体的な計画が立てられており、(B)を上回る (A) と判断した。

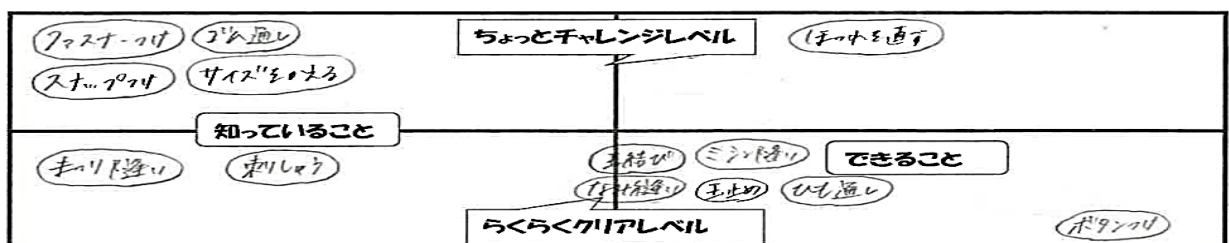
### 【主体的に学習に取り組む態度】③

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した生徒の具体的な事例

手縫いの技術が夏休みのお手玉づくりのボランティアの役に立った。今使っているものもすぐに捨てようと思わず、ゴムを通したりサイズをかえたりして使いたい。もったいないをなくしたい。

製作計画や話し合い活動を通して、資源や環境について考えたり、自分の持ち物をすぐに処分せずに活用したりできている。また、実際に自分の生活の中で実践していることから、(B)を上回る (A) と判断した。

<思考ツール(座標軸とマンダラチャート)の記入例>



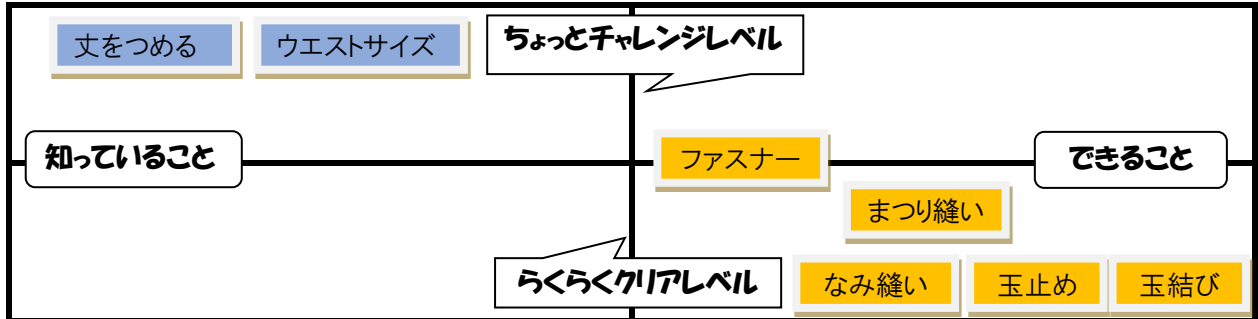
○自分の生活をちょっとよくする布製品を考えてみよう。

使える縫い方	どんな場面で使うか	再利用、再生利用する物
まつり縫い、ミシン	おでかけ	シャツ(色がいい)
縫い方以外使えるスキル	欲しい布製品	なぜそれを活用するのか
ボタン付け、内ポケット	ショルダーバッグ	布地が好きだから(色)
布以外に用意するもの	誰が使うか	工夫する点
ひも、ボタン	自分	脇縫いを利用する

## 8 指導の実際

①思考ツール（座標軸：身に付いたことを整理・分類する／マンダラチャート：マス目の中にアイデアを出していく）を用いて製作の振り返りを行うことで、自分の技能の習得状況を考えさせる。

○思考ツール（座標軸）を活用する。



題材の最後の時間にこれまでの学習の振り返りとして、知識及び技能の定着を確かめることができる。

ICT端末の付箋機能を活用して、短時間で行うこともできる。学習前の目標と照らし合わせ、比較することもできる。

《生徒の学習カードから》

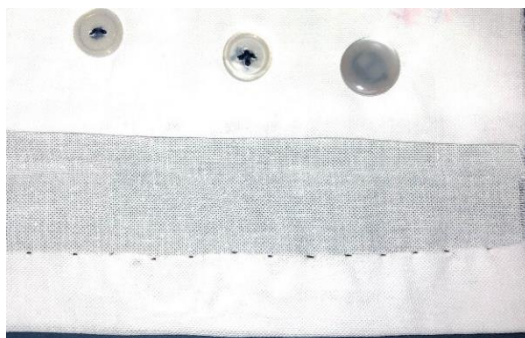
- ・まつり縫いは、丈を補修する時に使える。
- ・自分でサイズ直しができるようになってほしいと思った。



②十分に基礎の練習を行ってから、小物の製作に取り組み、生活に必要な物の製作計画で技能を活用する場面を考えさせ、実践につなげる意欲を高める。

題材の共通課題としてペンケースを製作する前に、まつり縫い、ボタン付け（二つ穴、四つ穴、足つき）、スナップ付けの練習に取り組む。ペンケースの製作では、縫い方は生徒自身で決められるが、十分技能を習得できている生徒は、縫い目を目立たなくする目的で、必要に応じてまつり縫いを用いた。

まつり縫い等練習用の布は「指導に生かす評価」の資料として、共通課題のペンケースの作品は、「記録に残す評価」の資料とする。全員が基礎の練習を十分に取り組んだ状態で次の課題に取り組むことで、基礎的・基本的な技能がより定着し、その後の「自分の生活を豊かにする物」の製作を考える際に、活用できる技能の幅が広がり、多くの生徒にそれを活用しようとする意欲の高まりがみられた。



〈まつり縫い等練習用の布〉



〈生徒作品「ペンケース」〉

③資源や環境に配慮した視点で衣服の再生利用を考えさせ、持続可能な衣生活への関心を一層高める。

○導入

《ワークシートから》「着られなくなった衣服はどうしているか。」

- ・親が、自分より小さい子にあげていた。
- ・燃えるごみとして捨てる。
- ・フリーマーケットアプリに売りに出す。

○現在の衣類に関する生産現場の実態を知る。

- ・素材から一枚の布になるまでの過程や、再生利用されずに処分される衣服の映像を視聴して、資源としての衣服について考える。
- ・ファストファッション業界を中心に、世界の衣料品生産現場の課題を取り扱ったドキュメンタリー映画を視聴する。

○製作を通して、技能を身に付ける。

○まとめと振り返り

《ワークシートから》「自分の生活をちょっとよくする布製品を考えよう」

- ・着なくなったシャツ⇒ショルダーバッグにする。色と手触りが気に入っていて、捨てられないから。
- ・内側の破れた弁当バッグの保冷素材⇒ペットボトルカバーを作る。鞆の中がペットボトルの水滴で濡れないように。
- ・傘の布⇒エコバックを作る。濡れても大丈夫な布なので、活用する。
- ・小学校で作った巾着⇒トートバッグに作り直す。

《学習カードから》「今後の生活に生かしていきたいこと」

- ・縫い方のあいまいなところが多々あった。なみ縫いはできるので、衣類の穴をふさぐことはやるようにしていきたい。
- ・買うことも大切だけど自分でもできることをした方が、家族だけでなくみんなにとっていいことだと思いました。簡単にごみに出さないようにしたい。
- ・裁縫は難しいけれど、背番号くらいは自分で縫えるようにしたい。
- ・これまで学習したことが、夏休みのお手玉づくりボランティアの役に立った。サイズをかえることを、自分でできるようになりたい。
- ・どのようにしたら無駄がなく物が作れるか、自分のできることを含めて考えることは楽しい。
- ・環境にも人間にも優しい目的や方法で作ったり買ったりしたいと思った。もったいないをなくしたい。

題材の学習を始める前に自分の衣生活を考えさせた後、資源としての衣服の課題について考えることで、資源を最後まで十分活用しようとしたり、安易に処分せず、大切に扱おうとしたりする記述が多くみられた。